

日本塑性加工学会北関東・信越支部長野ブロック 第62回技術講習会

兼 令和6年度 さかきテクノセンター第1回技術セミナー

「製造現場のトラブル解決に向けた 金属材料の評価 分析技術セミナー」

参加無料

ものづくりにおいて被加工品や生産プロセスなどで多くの金属材料が使用されています。そのため、品質管理や工程管理においてトラブルが発生するとその原因調査に金属材料の評価や分析が必要となります。今回はトラブル原因調査に用いられる金属材料評価として残留応力、硬さ、元素分析についての技術セミナーを開催します。

◇日時 令和6年6月12日(水) 13:30～

◇場所 坂城テクノセンター 大研修室 (リアル+オンライン開催)

〒389-0603 長野県埴科郡坂城町大字南条 4861-35 (しなの鉄道、テクノさかき駅下車 徒歩3分)

◇プログラム

時間	内容	講師
13:35 ~ 14:15	「金属材料の残留応力測定と評価」 金属部品の残留応力の評価は熱処理の効果の確認、機械部品の疲労強度、耐応力腐食割れ特性等に大きな影響を及ぼすため、現場でも測定が可能な二次元検出器を用いた残留応力測定は品質管理において重要な要素となります。	パルステック工業(株) 営業1課 主任 伊藤 通 氏
14:15 ~ 15:00	「マイクロビッカース硬度計、超微小硬度計による金属材料評価」 金属部品、焼き入れなどの熱処理や溶接熱影響部などの硬さを測定するビッカース硬度計とメッキやコーティング膜などのミクロンオーダーの硬さを測定する超微小硬度計について、測定原理や測定事例を交えて紹介します。	(株)島津製作所 分析計測事業部 Solutions COE マテリアル/インフラストラク チャーソリューションユニット 課長 垣尾 尚史 氏
15:00 ~	休憩 及び デモ機実演	
15:20 ~ 16:00	「電子顕微鏡を使った微小部の解析」 走査電子顕微鏡 (SEM) は mm ~ μm オーダーの微細構造物に対し、形態観察/成分分析できる装置です。本セミナーでは金属試料を用いた凹凸評価、異物の成分分析、広領域の自動測定など、SEM を使った解析事例を紹介します。	日本電子(株) 科学・計測機器営業本部 SI 販 売促進室 Scanning 系グループ 副主査 中嶋 香織 氏

◇申込み ・会場での参加希望者は、**6月7日(金)**までに、以下の参加申込書を FAX

又は Web でお申し込みください。(定員50名)

FAX 0268-82-0002 Web 回答 <https://x.gd/6Hg3e> または→

・オンラインでの参加希望者は以下の URL からお申し込み下さい。

<https://www.sakaki-tc.or.jp/event/20240612.html>



◇主催 日本塑性加工学会北関東・信越支部長野ブロック、(公財)さかきテクノセンター

◇事務局 さかきテクノセンター 担当 工藤 TEL 0268-82-0001

参加申込書 (FAX 0268-82-0002)

事業所名等			
連絡先住所等		〒	TEL
参加者	お名前		所属・役職
	お名前		所属・役職